



伝統の「置き薬」の心を世界に

講演会と パネルディスカッションを開催

アフリカで配置薬の普及を進める 町井恵理さんと語り合う



薬箱が届けられて喜ぶ家族 (タンザニア連合共和国で)



「世界で闘う日本の女性 55」(Forbes JAPAN)にも選ばれた町井恵理さん



『月刊なぜ生きる』4月号に掲載

アフリカの人たちを助けようと、「富山の置き薬」の仕組みをアフリカの地で展開しているNPO法人の代表、町井恵理さんを招いての講演会とパネルディスカッションが8月27日、富山市の県民会館で開かれる。「伝統の『置き薬』の『心』を世界に」をテーマに、「先用後利」の理念による配置薬システムを生んだ越中富山の精神文化を医療関係者とともに語り合う。主催の「一般社団法人富山県いみず市を世界に発信する会」の矢郷良明代表は「薬文化300年の歴史を土台に、富山の新たな魅力作りを考えましょう」と呼びかけている。

パネルディスカッションには、医療の現場から、県立中央病院の松田耕一郎内科部長、真生会富山病院の真鍋恭弘院長も登壇する。町井恵理さんは平成27年NPO法人「AfriMedico」(アフリメディコ)(東京・港区)を設立。タンザニア連合共和国に「置き薬」を広める活動を進めており、10年後には10万世帯への普及を目指す。町井さんがこの事業に乗り出したのは、青年海外協力隊員としてアフリカのニジェール共和国で活動したことがきっかけ。「一時的な援助ではなく、持続可能な活動を作らないと、本当の貢献にならない」と痛感した。帰国後、経営大学院に入り事業モデルを研究する中で、ひらめいたのが「富山の置き薬」だった。「安心感ある」と好評

る素晴らしいシステムでした。薬箱を届けた村の人たちからは『安心感がある』という喜びの声が次々に寄せられています。人助けの心から生まれた伝統の仕組みが、富山ブランドとして世界に広がっていくには、これほどうれしいことはありません」と町井さんは将来を展望する。今回のイベントは、富山県や県業連合会なども後援。同連合会の関係者は「アフリカに置き薬が伝わったのはうれいですが、こうした活動を、富山の薬のイメージアップにもつなげていきたい」と期待を寄せている。

講演会と パネルディスカッション

基調講演

町井恵理さん



パネリスト Panelist



富山県立中央病院 内科部長 松田耕一郎医師



真生会富山病院 院長 真鍋恭弘医師

○富山県医薬品 配置協議会顧問 中屋一博氏

○明生薬品工業株式会社 代表取締役社長 豊田博保氏

後援

・富山県 ・射水市 ・北日本新聞社 ・一般社団法人富山県業連合会 他

お問合せ

Email: info@imizu-world.com ホームページ: https://www.imizu-world.com



Date & Venue 令和2年 8/27 木

日時: 令和2年8月27日(木) 19時30分~21時00分

会場: 富山県民会館 ホール 入場料: 2,000円

※入場料の一部を「NPO法人AfriMedico」「富山県新型コロナウイルス対策応援基金」に寄付させていただきます。

タイムスケジュール Time Schedule

19:00 ~ 開場

19:30 ~ 基調講演

(休憩)

20:20 ~ パネルディスカッション

21:00 終了予定



富山県いみず市を 世界に発信する会



ニャンさんが経営する衣料品輸出国会の提携工場。でき上がったマスクは、日本そして世界中に届けられている



ベトナムからマスクを送ってくれたニャンさん(右)と友人のヴァンさん

ベトナムからマスク3千枚を寄贈

「射水の皆さんに恩返し」



新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、「一般社団法人富山県いみず市を世界に発信する会」(矢郷良明代表。以下「発信する会」)は、マスク3千枚を射水市社会福祉協議会などに寄贈した。

「世界に発信する会」にマスクを提供したのは、会と交流のあるベトナム人女性のファン・ティ・ニャンさんを中心とした若者グループ。

ニャンさんがベトナムで経営する衣料品輸出国会では今年3月、日本の厚生労働省から緊急依頼を受け、提携する縫製工場でマスクを大量生産。5月にはベルギー国防省からの要請にも応じたという。マスクは「肌に優しく、何回洗濯しても抗菌効果が落ちない」と好評だ。

マスクの贈呈式は4月28日、射水市の救急薬品市民交流プラザで行われた。「発信する会」の矢郷良明代表から、市社会福祉協議会の門田晋会長、市商工会の串田伸男会長、市老人クラブ連合会の若林忠雄会長らにマスクが手渡されると、門田会長らから「品薄で困っている時にとてもありがたいことです」と感謝の言葉が伝えられた。

「喜んでいただけて、とてもよかったです」と語るニャンさんにインタビューした。日本でもマスクが不足している時に、本当にありがたいと思いました。

「はい。大阪外国語大学(現・大阪大学外国語学部)に留学していた時からです。当時、以前から関心があった仏教を勉強したいと思い、友人と一緒に、射水市の浄土真宗親鸞会館を訪ねて、お話を聞いたのがきっかけです。射水市の皆さんにはとてもお世話になりましたので、今回、少しは恩返しできたかなと、喜んでいました」

「射水市の皆さんへのメッセージをお願いします。」
「雄大な立山連峰、美しい街並み、松の木が好きです。空気がきれいで、まるでリゾート地にいるような感じですね。親切な方が多いですね。新型コロナウイルスの影響はまだ続きますが、みなさん、お体を大切にしてください」



ゲストとして出演された皆さん!!

毎週土曜の朝7時半から始まるFMとやまのトーク番組「ビューティフルモーメント」(一般社団法人富山県いみず市を世界に発信する会提供)には、多彩なゲストが登場している。



小杉 ントリークラブ 串田茂社長

「ゴルフは人生の縮図、各ホールを人生に例えてのお話。「また来たい」と思われるゴルフ場を目指している。」



食パン専門店5 豊田安江社長

「食パンファイブ」の由来は五感を満足させるパンから。おいしいパン作りまでの足跡を振り返っていた。



セイアグリー 伊勢豊彦会長

「鶏はなぜ卵を産むのか」を考え、健康卵づくり一筋に半世紀。専門家ならではの含蓄とユーモアあふれるお話。



射水市商工会 串田伸男会長

一代で築き上げた事業を後継に譲り、今後は商工会長として、中小企業を助け、社会貢献に力を入れたいと語る。



真生会 富山病院 二村明広副院長

医学部を目指した高校時代の自らの体験を元に、医師を志す若者たちに向けて熱いメッセージが送られた。



真生会 富山病院 真鍋恭弘院長

学生時代に経験したアルバイト先の上司との出会いが、現在の医師としてのあり方にとても役立っているという。